

2021(令和3)年度 部局マニフェスト ～私たちの組織使命と目標～

部局名	教育委員会事務局
役職	事務局長
氏名	月井 敦子
2021(令和3)年度の抱負	コロナ禍でも一人ひとりの学びが継続できるようにします



業績目標の達成状況 5. 先進的な取り組みを行い、成果があった 4. 達成水準を上回る成果があった 3. 業績目標を達成した 2. 取り組んだが、業績目標を達成しなかった 1. 業績目標に取り組まなかった
--

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段
◎部局目標1	一人ひとりの豊かな人間性を育むとともに、自ら学び考え行動する子供の育成を図る学校教育の推進 地域とともにある学校づくりとグローバル人材の育成	〈現在の状態〉 全ての小中学校に学校支援地域本部を設置し、地域に開かれた学校を目指した取組がされている。 ↓ 〈達成目標〉 市民の意見を取り入れて学校改善を行っていると感じている保護者の割合：90% ※目標が達成した状態 ・地域と学校の連携により、地域ぐるみで子どもたちを育むコミュニティスクールの体制が構築されている。 ・児童生徒の英語でのコミュニケーション能力が高まるとともに、郷土教育によりシビックプライドが醸成されている。	・学校支援地域本部と学校運営協議会が両輪となり、より地域住民と学校との連携が進むよう、協議会の支援や助言等を行う。 ・英語でのコミュニケーション能力の育成に努めるとともに、郷土教育教材「伊賀のこと」を積極的に活用する。
◎部局目標2		〈現在の状態〉 上野南部地区(依那古・神戸・比自岐)住民の小学校統合に向けた合意が得られた。 ↓ 〈達成目標〉 進捗率：50%(令和5年4月統合予定) ※目標が達成した状態 上野南部地区小学校の統合に向けた協議が整う。	地区住民、保護者、学校等の参画による校区再編実施計画検討協議会を設置し、統合に係る具体的な計画案を策定する。

達成状況(自己評価)	理由
3	学校運営協議会委員を対象とした研修会を実施するなど、コミュニティスクールの推進に向けて助言を行った。また、郷土教育教材「伊賀のこと」を学校において積極的に活用した。
3	検討会議において、統合時期、校名、校歌、校章などを決定した。

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段	達成状況 (自己評価)	理由	
◎部局目標3	市民の自主的な生涯学習を支援する体制整備	<p>〈現在の状態〉 地域によって支援体制にバラツキがあり、十分な支援体制が整っていない地域もある。</p> <p>↓</p> <p>〈達成目標〉 令和4年度から全地域に社会教育支援員を配置する。</p> <p>※目標が達成した状態 各地区市民センターで生涯学習を支援する体制が整い、地域に応じた生涯学習活動が展開される。</p>	支所再編や地区市民センター指定管理者制度導入等の動向と合わせ、生涯学習センターを中心とした生涯学習支援体制の整備を図る。	3	来年度からの新しい生涯学習支援体制について、自治協や団体等に説明するとともに、スムーズな移行に向けて様々な調整を行った。	
「誰でも・いつでも・どこでも学び・成果をまちづくりに生かす」生涯学習の推進						
◎部局目標4		<p>〈現在の状態〉 新型コロナの感染状況により、事業の縮小や中止などの状況もある。</p> <p>↓</p> <p>〈達成目標〉 感染症対策を講じ、事業が予定どおり実施されている。</p> <p>※目標が達成した状態 新しい生活様式の中で、オンラインなど新しい開催手法を導入し、様々な事業が実施されている。</p>				コロナ禍にあっても感染症対策を講じ、オンラインの活用等、できる方法を検討する。
地域の多様な学習課題に対応した公民館活動の推進	新しい生活様式に合わせた公民館事業の推進	◎部局目標5	<p>〈現在の状態〉 図書館協議会やワークショップで意見を聴き、新図書館機能を検討している。</p> <p>↓</p> <p>〈達成目標〉 にぎわい忍者回廊プロジェクト要求水準書に入れる新図書館機能をまとめる。</p> <p>※目標が達成した状態 旧上野市庁舎での新しい図書館機能が決定している</p>	にぎわい忍者回廊プロジェクト関係部署と連携し、図書館協議会や市民の意見を踏まえた新図書館機能をまとめる。	3	新図書館基本計画を基本として、図書館協議会やワークショップの意見を反映した新しい図書館機能等を、にぎわい忍者回廊事業募集要項要求水準書に反映した。
「学び、創造、憩いの広場」として活用される図書館づくりの推進	新しい図書館機能等の検討					

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段	達成状況 (自己評価)	理由
◎部局目標6					
育み守り伝えられてきた文化財の保存継承と活用促進	文化財の計画的な保護・活用	<p>〈現在の状態〉 ①旧上野市庁舎保存活用計画について検討委員会により協議している。 ②伊賀市文化財保存活用地域計画策定について庁内合意を得て、素案を策定中 ↓ 〈達成目標〉 ①令和3年7月までに策定 ②1～3章の素案を完成</p> <p>※目標が達成した状態 ①策定された計画に基づき、旧上野市庁舎の活用が実行されている。 ②計画の策定が予定通り進んでいる。</p>	<p>①にぎわい忍者回廊プロジェクトのスケジュールに合わせ関係部署と調整の上、策定する。 ②庁内会議、策定協議会で協議を重ねる。</p>	3	①はモデル案を作成し、具体的活用方法を検討するとともに、PFI事業者の提案内容と調整の上、計画を策定した。②は、庁内会議、協議会を開催し素案を検討いただくとともに、アンケートを実施した。
◎部局目標7					
人権同和教育の推進	命を大切に、あらゆる差別を許さない実践的な人間を育成する	<p>〈現在の状態〉 幼稚園・小学校・中学校の系統的な人権学習を推進している。 ↓ 〈達成目標〉 学校(園)の教職員の人権に関する研修会・地区懇等への参加回数:5回以上</p> <p>※目標が達成した状態 教育活動の全領域を通して、人権尊重の精神と豊かな感性を養い、あらゆる差別を許さない実践行動ができる人材が育成されている。</p>	<p>幼稚園、小中学校全教職員で学校人権・同和教育部会を組織し、全市的に人権・同和教育の研究と推進を行う。</p>	3	各中学校区で、保幼・小・中の系統的な人権学習の推進に向けて、人権教育カリキュラムの見直しを行った。また、伊賀市学校人権・同和教育研究部会を中心に研究を推進した。